

駆動系メンテナンスのススメ

修理済みの発振器を携え、取付調整に何うとよく目にするのが駆動部品の消耗です。アイドルプーリー(ベルト用の滑車)やモーターギアなど目立たない箇所の消耗で動きが悪くなっているケースです。ベアリングホイールは硬質ゴム製、タイヤレールはアルミ製ですが、加工によって生じる材料の粉塵が付着したまま稼働させると、ホイールがレールに沿って動く際に粉塵をレールに擦りつけることになり、そのまま使用を続けていくと、レールが削れ、ホイールとの間にギャップができ、結果として彫刻ブレや切断面のがた付きなどが発生するようになります。また、粉塵を噛み込んだベアリングホイールは動きが渋くなるため、そのまま使用を続けるとモーターに負担をかけ、モーターはもちろんのこと基盤損傷にも繋がります。

駆動系部品となると「どうやってメンテナンスしたらいいかわからない」といったお声をよく聞きます。まず大前提として、レーザー機ご使用時には集塵機を稼働させ、加工エリア内を常に排気するようにしてください(もちろん集塵機のフィルターの目詰まりなどには注意いただき、適切な排気を妨げる要因があれば交換してください)。その上で、作業終了後の光学系のクリーニングを行うついでにレールやベアリングホイールに付着した粉塵などをエアガンや市販のエアダスターで吹き飛ばしてください。

これを使用毎に行っていただくことで、消耗の進行をかなり防ぐことができます。駆動系のメンテナンスは専用工具や正しい調整知識が必要です。なんとなく調整を行って見たところ、却って傷口を拡げてしまったというような話をよく伺います。これから年末に向け、繁忙期に入るお客様も多いと思いますが、ご不明な点がございましたら、まずは私共にご相談ください。もちろん修理するしないに関わらず、ご相談は無料で承ります。

技術直通 TEL : (東日本) 042-440-0181 (西日本) 06-6305-4551

「OGBS 2019」ご来場ありがとうございました。

9月20日、21日の2日間、池袋サンシャインシティ文化会館にて開催されました、オーダーグッズビジネスショーに出展致しました。展示会の様子はユー・イー・エス公式ブログにてご確認いただけます。ご来場いただきましたお客様には心より御礼申し上げます。今後もレーザー加工に携わる全ての方々がご満足いただけるような催しを企画してまいりますので宜しく願いいたします。

ユー・イー・エスの社員コラム 第55回 商品課・平林

こんにちは。商品課の平林です。先日、家具屋さんへ椅子を見に行きました。こじんまりとした店内に、椅子以外にもテーブル、キャビネット、照明など統一感のある家具たちが、圧迫感無く陳列されていました。店主お一人で「買い付け」、「修繕」、「web 関連業務」から「店頭業務」まで行っているそうで、「自分をワクワクさせてくれる家具たちの面倒を最後まで見たい」のだそうです。「この店で買いたいな」と思わせるエピソードを聞きながら、色んな椅子の座り心地を試し、自分より20も年を重ねた最高にリラックスできる椅子にも出会えました。ふと思えば「安くて便利」なネットからの購入が増加していた私ですが、実物を見て、実物に触れる大切さを再認識しました。LASER STYLE に置き換えれば、レーザー加工商材の実物をお見せできる展示会は貴重な機会です。直近では11月8、9日に大阪で開催されますので、是非皆様に実物に触れていただければと思います。

